

延岡植物園リニューアル基本構想

令和7年10月

延 岡 市

目 次

1	はじめに	1
2	整備テーマ及び基本方針	4
3	整備概要	6
4	整備範囲と内容	9
5	第1期整備の概算事業費及び想定スケジュール	10
6	管理・運営経費	11
7	リニューアル基本構想図	11

1 はじめに

延岡植物園（以下「植物園」という。）は、昭和62年の開園以降、花と緑の供給基地として、市内の緑化を進め、住みよい町を作る拠点としての役割を担ってきました。また、自然と融合した緑の中のレクリエーションの広場としての機能を持ち、「市民の憩いの場」として多くの市民等にご利用いただけてきました。

その後、高速道路が整備され、東九州自動車道と九州中央自動車道が交わる延岡インターチェンジの近くという絶好のロケーションとなりました。

しかしながら、その「地の利」を活かすことなく、社会的なニーズや価値観の変化、施設の老朽化等の中で来園者数は減少傾向にあり、本市の貴重な「財産」を活かしていない状況が続いています。

そこで、令和3年度から、これまで植物園の運営にご尽力いただけてきている方々をはじめ、各界の代表者や有識者の方々、さらには公募委員の方々などで構成される植物園魅力アップ検討委員会（以下「検討委員会」という。）を立ち上げ、植物園の魅力をさらにアップさせるための検討が進められてきました。

こうした中、市内では全国から多くの誘客が見込める重要施設（※）の整備が着々と進んでおり、さらには、令和9年には宮崎県で国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会が開催され、本市も主要会場の一つと位置付けられ、全国から多くの方々が訪れることが見込まれています。

さらに令和9年は西南の役150年、大崩山等のユネスコエコパーク登録10周年にも当たり、国内外から多くの方々が来られるという、本市にとって絶好のチャンスが到来しようとしています。

これらの動きを踏まえ、市民はもちろん観光誘客が多く見込めるような「オシャレで楽しい緑の空間」として、若者が描く魅力あるまちづくりミーティングでのご意見も踏まえながら今後の方向性を検討してまいりました。

これに併せて、本植物園の更なる魅力向上を図ることを目的に植物園リニューアルにおける民間活力導入に向けたサウンディング型市場調査も実施し、パブリックコメントで市民の皆様からもご意見をいただいた上で「基本構想」をとりまとめました。

今後、基本計画策定、基本詳細設計、第1期整備工事を行う際にも、引き続き検討委員会からのご意見や民間事業者からのアドバイス等、パブリックコメント等による市民の皆様からのご意見等を柔軟に取り入れながら、整備を進めたいと考えております。

なお、令和9年の国スポ・障スポ、西南の役150年、ユネスコエコパーク登録10周年に向けては、PR・イベント企画運営等のソフト事業による賑わい創出を図りながら、第1期整備工事のうちトイレや駐車場等の再整備を先行して行う予定です。

重要施設（※）

延岡城・内藤記念博物館、野口遵記念館、Park-PFIによるカフェ整備（城山公園内）、新宮崎県体育館（アスリートタウン延岡アリーナ）、西階公園多目的屋内アリーナ（のべおかwaiwaiアリーナ）

■これまでの経緯及び今後の想定スケジュール

- | | | |
|--------|-----|---|
| 令和3年度 | | 延岡植物園魅力アップ検討委員会の発足 |
| 令和4年 | 6月 | 民間活力の導入を視野に検討するために、延岡植物園魅力アップ検討委員会の休止を発表 |
| 令和6年 | 4月 | 検討委員会再開に向けた延岡植物園魅力アップ検討委員会と若者が描く魅力あるまちづくりミーティングメンバーとの意見交換会 |
| 令和6年 | 8月 | 延岡植物園リニューアル基本構想策定業務の受注者決定 |
| 令和6年 | 10月 | 第1回 延岡植物園魅力アップ検討委員会 |
| 令和6年 | 11月 | 第1回 民間活力導入に向けたサウンディング型市場調査 |
| 令和7年 | 2月 | 第2回 民間活力導入に向けたサウンディング型市場調査 |
| 令和7年 | 4月 | 第2回 延岡植物園魅力アップ検討委員会 |
| 令和7年 | 6月 | 第3回 延岡植物園魅力アップ検討委員会 |
| 令和7年 | 7月 | 基本構想（案）のパブリックコメント実施 |
| 令和7年度 | | 延岡植物園リニューアル基本構想策定
延岡植物園リニューアル基本計画策定業務に着手 |
| 令和8年度 | | 延岡植物園PR・イベント企画運営業務に着手
延岡植物園リニューアル基本詳細設計業務に着手
第1期整備工事に着手 |
| 令和13年度 | | 供用開始（第1期整備区域） |

※ 第2期以降の整備について、PR・イベント企画運営や第1期整備工事による来園者数の増加次第では、本市にとってより有利な形で民間活力を導入できる可

能性もあることから、現時点における具体的なスケジュールは未定となっています。

■「延岡植物園魅力アップ検討委員会」委員名簿

NO	氏名	所属
1	関西 剛康	南九州大学 環境園芸学部 教授
2	三宮 基裕	九州医療科学大学 社会福祉学部 教授
3	吉田 博志	一般社団法人延岡観光協会 観光事業課 課長
4	吉田 晋弥	一般財団法人みやざき公園協会 理事長
5	石井 清子	フローラルレディース 会長
6		フラワーフレンズ 代表
7	湯川 良子	フローリストのべおか 代表
8	西府 茂樹	延岡植物園 園芸教室 講師 延岡市花と緑のまちづくり推進協議会 会長
9		延岡市PTA連絡協議会 理事（令和4年度まで）
	瀬戸口 裕理江	延岡市PTA連絡協議会 理事（令和7年度から）
10		保育園保護者代表（令和4年度まで）
	高本 泰世	保育園保護者代表（令和6年度から）
11	石田 奈美	幼稚園保護者代表（令和4年度まで）
	小出 奈菜	幼稚園保護者代表（令和6年度から）
12	矢房 綾美	延岡市障がい者自立支援協議会
13		延岡市さんさんクラブ連合会 副会長 （令和6年度まで）後任は人選中
14	吉田 敏春	延岡市区長連絡協議会 会長（令和4年度まで）
	森口 正輝	延岡市区長連絡協議会 会長（令和6年度から）
15	工藤 哲也	公益社団法人延岡市シルバー人材センター 次長
16		九州医療科学大学 学生（令和6年度まで）
	兼松 和正	九州医療科学大学 学生（令和7年度から）
17	増田 千裕	公募委員
18	児崎 優子	公募委員
19	甲斐 剛士	公募委員
20	森 徹夫	公募委員
21	佐々木 淳人	公募委員

※ご本人の同意が得られた方のみお名前を掲載しております。

2 整備テーマ及び基本方針

■ 植物園リニューアルの整備テーマ：「オシャレで楽しい緑の空間」

～現在の植物園としての基本的な機能を維持しつつ、市民はもちろん観光誘客が見込めるような植物園～

現在の植物園としての基本的な機能

- ① 花と緑の供給基地としての機能
 - ・ 花苗の育苗、配布による市内の緑化推進
 - ・ 新築記念樹の贈呈 など
- ② 自然と融合した緑の中のレクリエーション広場としての機能
 - ・ 緑に囲まれた芝生広場や遊具広場
 - ・ 草花の中を散策できる遊歩道や展望台 など
- ③ みどりの相談所としての機能
 - ・ 電話等での緑の相談対応
 - ・ 園芸教室、展示会の開催 など

■ 植物園リニューアルの基本方針

- ① 延岡市全体の観光振興及び地域経済の活性化となるような魅力ある植物園
⇒ **活気があり、市内外から遊びに行きたくなる植物園**
- ② 若年層にとって魅力的でエキサイティングな植物園
⇒ **近隣の自治体にはない体験、遊びができる場所、映える空間**
- ③ 植物園の機能は維持しつつ、新たな機能を追加して一日中過ごせる植物園
⇒ **カフェやレストラン、全天候型屋内遊び場を導入した憩える複合的な施設、エリアや施設の刷新**
- ④ 日常的に利用している地域の利用者にも配慮
⇒ **静かなエリアと活発なエリアを分けて整備、今までの延岡植物園を継承**

⑤ 持続可能な市有施設とするため、民間活力の導入を図り管理経費を削減

⇒ 指定管理者による管理・運営が可能な拠点

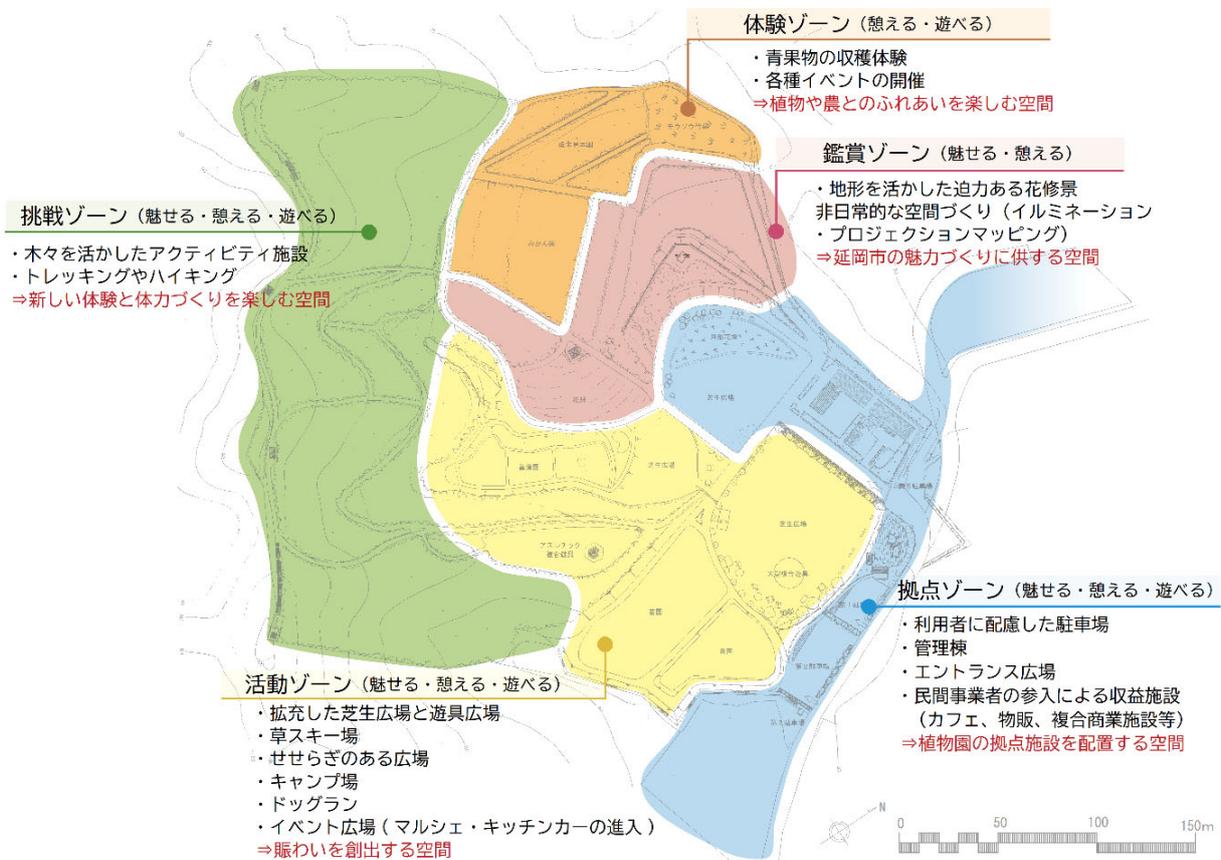
以上の基本方針の実現に向け、今後の基本計画及び基本詳細設計において具体的な方法を検討します。

(例)

- ・ 植物園としての機能の維持・強化の一環として、九州医療科学大学の薬草園との連携も検討する等
- ・ 静かなエリアと活発なエリアの分け方について、空間で分けることが難しい場合には、時間帯や曜日で分ける方法も検討する等

■ 植物園リニューアルのコンセプト

基本方針を実現するために「魅せる」「憩える」「遊べる」の3つの機能をコンセプトにしてリニューアルを行います。



3 整備概要

■整備の方向性

□段階的整備を行います。

リニューアルの範囲、工種が多岐にわたることから、第1期と第2期以降に分けて段階的に整備を進めます。

なお、第1期については、トイレや駐車場等の整備を先行して行う予定です。

□PR・イベント企画運営等のソフト事業による魅力アップも行います。

第1期整備が完了するまでの期間においても、植物園の魅力アップを推進するために、PR・イベント企画運営等（SNSによる情報発信や多くの集客が見込まれるイベントの開催等）のソフト事業も実施します。また、PR・イベント企画運営事業者の公募にあたっては、今後の基本詳細設計及び第1期整備工事の監修業務を含めた上で、事業主体を決定し、設計の段階から民間事業者のノウハウ等も反映させながら整備を進めます。さらには、中高校生や大学生をはじめとした若者たちが参加したくなるようなイベントを開催するために、例えば、九州医療科学大学とのタイアップにより、イベントの企画段階から若者たちに参画してもらう仕組みづくりも検討します。

□指定管理者制度による民間事業者との連携による賑わいづくりを行います。

民間活力導入に向けたサウンディング型市場調査の結果、現在の来園者数、建築資材の高騰、投資の回収等を踏まえると、当初想定していた「Park-PFI」（※）による民間事業者の参入は現時点においては厳しいとの意見がありました。一方、最低限の施設改修等を行政が負担した上で、「指定管理者制度による民間活力の導入」については民間事業者の参入の可能性があることが確認できたことから、そのような意向を踏まえた形での連携による賑わい創出を図ります。なお、ソフト事業（PR・イベント企画運営）や第1期整備により来園者数を大幅に増加することができれば、第2期以降の整備において Park-PFI 等の民間投資を呼び込める可能性も十分に考えられます。

※Park - PFI（公募設置管理制度）について

民間活力による新たな都市公園の整備手法を創設し、公園の再生・活性化を推進するため、平成 29 年の都市公園法改正により制度化されています。なお、民間事業者が公募対象公園施設（カフェ等の収益施設）と特定公園施設（広場、園路等の公共部分）を整備します。

本市においては、令和 5 年 11 月に城山公園 Park-PFI 事業による古民家風カフェをオープンしております。

□施設の改善を行います。

老朽化した施設の建て替えや改善、段差の解消など、誰もが安全・安心で快適に過ごすことができる植物園とします。

■具体的な取り組み

□拠点施設の整備

老朽化に伴い現在の管理棟、みどりの相談所、温室等の建て替えを目指します。計画する建物のイメージは開放的で、隣接する芝生広場と一体的で明るく植物園の魅力を高めるようなデザインとし、カフェ等の飲食施設や物販施設等の検討も行います。



芝生広場と一体化した拠点施設のイメージ



カフェスペースのイメージ

□イベント等に利用可能なエントランス広場の整備

リニューアルされる植物園への出入口にふさわしいエントランスと日常的に行う集客イベントに活用でき、例えばキッチンカー等による飲食の提供の場を創出します。



「公園の顔」となるエントランスのイメージ



イベント広場のイメージ

□充実した広場空間の整備

保護者の見守りスペースや休憩できるベンチ、日よけ屋根、インクルーシブに配慮した空間にするなど、子育て世代が快適に過ごせるような広い芝生広場と遊具施設を創出します。



保護者の見守りスペースのイメージ



ミスト広場のイメージ

□トイレのユニバーサルデザイン化

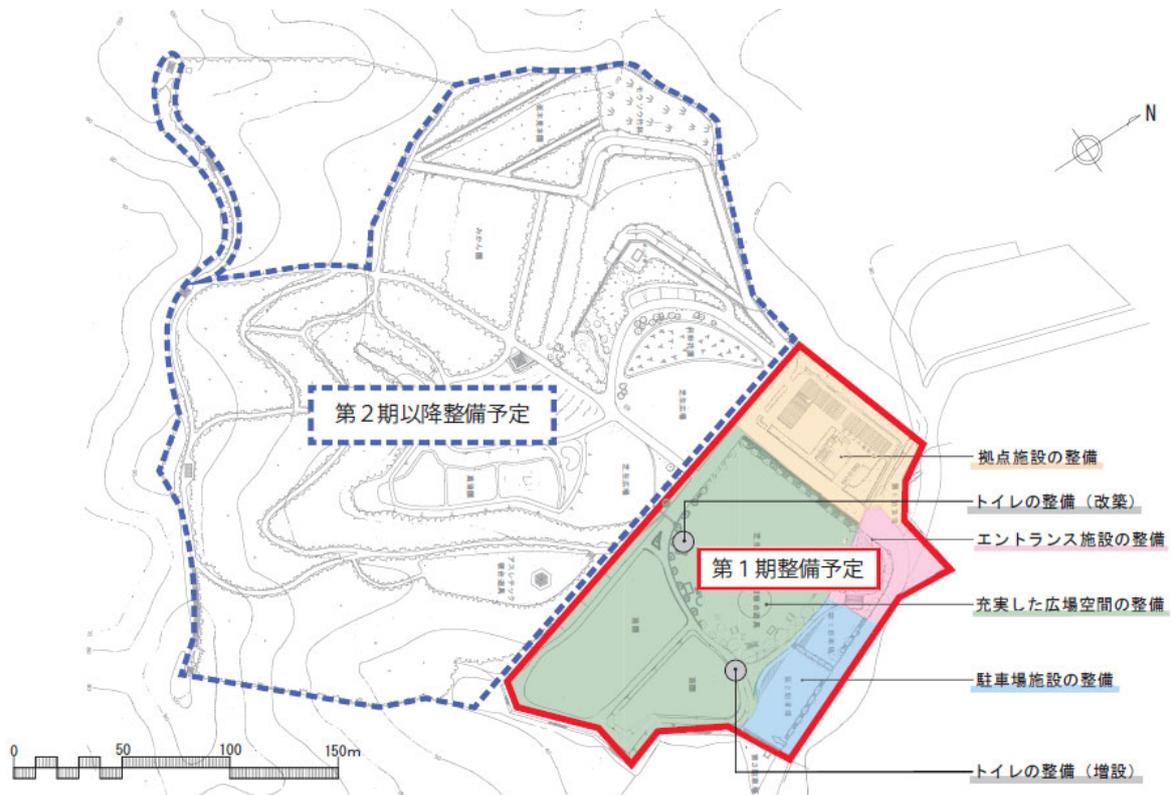
トイレの洋式化による衛生面や快適性の向上やオストメイト設備の導入、乳幼児用のベッドなど、誰もが使いやすいユニバーサルデザインに配慮します。

□駐車場のユニバーサルデザイン化

駐車場内の歩道園路の段差の解消や思いやり駐車場など、利便性の向上を図ります。

4 整備範囲と内容

整備は段階的に行い、第1期整備予定区域は下図の着色部分を予定しています。



□第1期整備内容(予定)

①トイレ、駐車場施設の整備

- ・トイレを増設し、洋式化やオストメイト設備の導入、乳幼児用のベッドなど、誰もが使いやすいユニバーサルデザインに配慮
- ・拠点施設へのアクセスがしやすいように駐車場を拡幅
- ・ユニバーサルデザイン化（段差解消、おもいやり駐車場の整備等）の推進や園内の導線見直しによる利便性向上

②エントランス・拠点施設の整備

- ・みどりの相談所やカフェ等を併設した拠点となる複合施設
- ・「公園の顔」としてふさわしいエントランスの整備
- ・イベント広場、民間活用広場の整備

③充実した広場空間の整備

- ・広々と遊べ、イベント開催ができる広場（見守りスペース、日除け屋根、インクルーシブ遊具、ミスト広場等）の整備

□第2期以降の整備予定区域

【整備例】

キャンプ場、バーベキュー広場、果物・野菜園（収穫体験）、花畑広場、イルミネーション、プロジェクションマッピング、園路・階段・柵の整備、ドッグラン、草スキー、ジップライン等

なお、今回の基本構想は、検討委員会や若者が描く魅力あるまちづくりミーティングでのご意見をすべて包み込むような形でとりまとめており、今後も引き続き検討委員会からのご意見や民間事業者からのアドバイス等を柔軟に取り入れながら、基本計画策定、基本詳細設計、第1期整備を進めていくことを考えているため、整備内容についても変更となる可能性があります。

また、第1期及び第2期ともに、現在の地形を活かしつつ、樹木等についても極力残したり、移植したりしながら、植物園としての機能を損なわないよう配慮した整備を行います。

5 第1期整備の概算事業費及び想定スケジュール

今回の基本構想（案）においては、第1期整備の概算事業費及び想定スケジュールのみ提示しております。第2期以降については、第1期整備やソフト事業による来園者数の増加次第では、Park-PFI等による民間投資を呼び込める可能性もあることから、現時点においては概算事業費等の提示を控えさせていただいております。

実施年度 (想定)	計画額	摘要
令和9年（国スポ・障スポ、西南の役150年、ユネスコエコパーク登録10周年）までの業務行程		
R7年度	8,000千円	基本計画策定に係る費用（※1）
R8年度～（約3年）	48,000千円	PR・イベント企画運営に係る費用（※2）
R8年度～9年度	28,300千円	第1期整備工事（トイレ、駐車場等）に係る費用（※3）
R8年度～9年度	50,000千円	基本詳細設計に係る費用（※1）
令和10年以降の業務行程		
R10年度～12年度	761,700千円	第1期整備工事（拠点施設、広場等）に係る費用（※3）
計	896,000千円	

概算事業費については、下記の試算方法により、あくまで目安としてお示したものです。

- (※1) 基本計画、基本詳細設計に係る費用は、標準的な積算基準書をもとに試算。
- (※2) PR・イベント企画運営に係る費用は、民間活力導入に向けたサウンディング型市場調査に参加した民間事業者から徴収した参考見積をもとに試算。
- (※3) 第1期整備工事に係る費用は、他自治体における同規模の改修整備実績（1㎡当たりの経費など）を参考にしつつ、拠点施設の整備費用については、延べ床面積を980㎡と想定した上で試算。

ただし、昨今の原油価格高騰等の影響により、建設資材等の物価が今後上昇することや、今後の基本計画や基本詳細設計の中で、必要な設備や機能等を見直すことにより、建設費が増減する可能性も十分あります。

また、この金額とは別に、施設内に設置する備品購入費や、基本詳細設計を進める中で生じる課題の解決に必要な経費等が必要となる場合もありますが、現時点でその所要額を算定することは困難なため、上記の金額には含まれていません。

なお、事業費の財源については、国からの財政支援や有利な地方債等の活用を積極的に検討してまいります。

6 管理・運営経費

実施年度（想定）	計画額	摘要
R13年度～	30,000千円/年	指定管理に係る費用（※4）

管理・運営経費については、下記の試算方法により、あくまでも目安としてお示ししたものです。

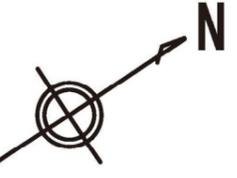
- (※4) 指定管理に係る費用は、現在の維持管理費に、前頁のPR・イベント企画運営に係る費用を加算する方法で試算。

なお、リニューアル後は「指定管理者制度」の導入を想定しておりますが、管理・運営のあり方につきましては、今後の社会情勢の変化も踏まえながら、柔軟に検討してまいります。

7 リニューアル基本構想図

次頁に「延岡植物園リニューアル基本構想整備計画図」を示します。

延岡植物園リニューアル基本構想 整備計画図



第2期以降整備区域 第1期整備区域

